

(別紙)

鳥獣被害防止総合支援事業(及び鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業)の評価報告(令和5年度報告)

実施主体名 北九州市・水巻町鳥獣被害防止対策広域協議会

1 事業効果の発現状況

市内で農作物被害が最も大きいイノシシについて、導入した箱わなにより、令和3年度から令和5年度の3年間で4,072頭のイノシシを捕獲した(有害鳥獣捕獲分)。また侵入防止柵も令和3年度から令和5年度の3年間で、農業者自らが51,549m(うち国補助事業6,385m)設置し、地域ぐるみでのイノシシ防除を実施している。

2 被害防止計画の目標達成状況

被害の軽減目標について、ICT技術の活用による効率的な捕獲等により捕獲数は増加しているものの、ほぼすべての鳥獣において目標を達成できなかった。令和4年度の有害鳥獣による被害金額は市内の農作物生産額の0.5%程度であるため、県平均と同レベルであった。

3 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

Table with 10 columns: 事業実施主体名, 対象地域, 実施年度, 対象鳥獣, 事業内容, 事業量, 管理主体, 供用開始, 利用率・稼働率, 事業効果. It details the implementation and results of bird damage prevention projects across three years (2021-2023) in Kitakyushu City and Mizumaki Town.

注1: 事業内容は、実施年度ごとに記載すること。
注2: 被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記載し、これに合わせて他の欄も記載する。
注3: 事業効果は記載例を参考とし、獣種ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。

Table with 7 columns: 被害防止計画の目標と実績 (Target and Actual Results of Damage Prevention Plan) and 事業実施主体の評価 (Evaluation of the Implementing Organization). It compares targets and actuals for various bird species like Inoshishi, Sika, and Crows.

(注4)被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。
(注5)達成率=(基準年値-実績値)/(基準年値-目標値)。達成率が70%未満の場合は、別途改善計画作成の必要あり。
(注6)「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。

4 第三者の意見

Table with 3 columns: 氏名 (Name), 所属名・役職等 (Affiliation/Position), and コメント (Comments). It contains one entry from Masahiro Murakami, a researcher at the Fukuoka Prefecture Agricultural Forestry Comprehensive Experiment Station.

※「第三者の意見」とは事業実施主体及びその属する市町村の被害防止対策協議会の構成員以外の方の学識経験者の意見とする(本評価については、公表する必要があることに留意すること)。